

千葉県社保協通信

2018年度 — No7 2018年 10月26日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セカビル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

共同の力で変えよう 10.25 中央行動・2,800人がアピール いのち最優先の政治に!!

— 憲法 25 条を守り、活かそう共同実行委員会 —

安倍政権が、医療・介護の負担増、生活保護基準の引き下げなど、社会保障の抑制を次々進める中、「憲法 25 条を守り活かそう」と 25 日に行われた日比谷野外音楽堂集会と厚生労働省包囲行動。秋晴れのもと、2,800 人が集い、「社会保障・社会福祉は国の責任で」とアピール。県内社保協加盟団体からは、千葉土建、生健会、保険医協会、民医連、障千連、新婦人、保問協等から 60 人が参加しました。



集会では、実行委員会を代表して、尾藤廣喜弁護士(生活保護問題全国対策会議)が報告。「あらゆる人々が生きづらさを強いられている」「25条の実現のために共同のつながりを広げよう」と訴え。伊藤真美医師(花の谷クリニック)、井上英夫金沢大名誉教授らが、また野党を代表し倉林明子参院議員(共産党)が連帯あいさつをしました。

あいさつの中で、竹下義樹弁護士は「障害者雇用水増しは 1 万人の障害者の働く機会を奪った国家的犯罪」「25 条によって闘うしかない」とキッパリ。

つづいて、生活保護利用者、年金者、高齢者、障害者、さらに保育・介護・医療の現場から「聞いてください!! 私たちの声を」と 11 人の発言です。「65 歳の壁 障害

者を年齢で差別するな!!」の横断幕を掲げた「天海訴訟」を闘う天海正克さんの発言。(代読：藤田県社保協事務局長)

「障害者総合支援法第 7 条の介護保険優先原則を撤廃し、介護保険制度の抜本的見直しを」と訴えました。集会の後は、厚生労働省を囲んでアピール行動。宣伝カーから、前野良政さん(習志野市生活と健康を守る会)が「生活保護基準の切り下げは許せない」「節約のためクーラーや暖房を我慢する人が多い」「猛暑にいのちの危機を感じる!! 夏季加算の創設を!」と訴えました。

社会保障のためって言うけれど…???

消費税 10%は キッパリ中止を!!

県社保協・消費税廃止県連絡会・共同定例宣伝行動

10月24日(水)昼休みの1時間、爽やかな秋の日差しの下、千葉駅前にて。民商、土建、新婦人、保険医協会、民医連、自治労連、労連、県社保協、共産党。9団体12人が行動しました。



- ジッと話を聞いていた車椅子の男性は、「消費税増税反対です」ときっぱり。
- 安倍政権に怒り心頭の女性「若い人たちに政治に関心持ってほしい。今友達と話していたところよ。」と署名。用紙を1枚持ち帰った。
- カフェの店員が出てきて「何をやってるの?」と。「消費税増税反対です」と応えると男性店員は「消費税賛成です」と。それを聞いた女性店員は「エッ」と驚く。
- 行動に参加した新婦人の神田みさ子さんは、「仕方がないとあきらめている人とも対話できる工夫をしたい。次回は『消費税賛成? 反対?』のようなシール投票したらどうかしら?」と。
- ティッシュ付きチラシ 480 配布。「社保」と「消費税」署名 12 筆。